

議題1 令和元年度活動報告（案）について

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織や県庁関係課・試験研究機関等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策や AMED、NEDO 等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会

日 時：令和元年6月4日（火）13:00～13:30

場 所：ホテルグリーンタワー幕張 4階ロイヤルクレッセント（千葉市）

内 容：平成30年度事業報告、令和元年度事業方針（案）について

イ 事例報告会

日 時：令和元年6月4日（火）13:30～16:30

場 所：ホテルグリーンタワー幕張 4階ロイヤルクレッセント（千葉市）

テーマ：食品・医療・農業分野における最近の動向

参 加：55名

内 容：

- ・種苗会社の品質管理～QCから考えるバイオ・ライフサイエンス～
みかど協和(株) 種子検査部 部長 寺倉葉子様
- ・商工会の存在意義と活動をご理解いただくために
千葉県商工会連合会 企業支援対応 副主査 岡崎義広様
- ・難病に関わる臨床・診断ネットワークの構築
かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 臨床解析チーム長 糸賀栄様
- ・オープンイノベーションの活用～おいしさの追及にむけて～
キッコーマン(株) 取締役 常務執行役員 松山旭様

ウ 企画運営会議

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を見合わせ、書面開催とした。

内 容：

- ・令和元年度活動報告（案）について
- ・令和2年度活動方針（案）について
- ・企画運営会議の運営体制の見直し（案）について

エ セミナー

(ア) かずさDNA研究所視察・知財セミナー@かずさ

日 時：令和元年8月29日（木）15:00～17:30

場 所：公益財団法人かずさDNA研究所（木更津市）

参 加：44名

内 容：

- ・かずさDNA研究所視察
かずさDNA研究所 広報・研究推進グループ長 長瀬隆弘様
- ・知財セミナー「会社の強みを武器に～知的財産の活用～」
特許庁総務部普及支援課 産業財産権専門官 目黒大地様
- ・交流会 ※かずさいンキュベーションセンター入居企業交流会と合同開催

(イ) バイオプロセスが変えるものづくり～持続可能な循環型社会を目指して～

（独立行政法人中小企業基盤整備機構関東本部との共催）

日 時：令和元年11月25日（月）14:00～16:40

場 所：ペリエホール Room A（千葉市）

参 加：39名

内 容：

- ・バイオプロセスによる化学品製造の革新－三井化学の事例－
三井化学(株) 研究開発企画管理部 シニアアナリスト 進藤敦徳様
- ・かずさ発バイオリファイナリーのプラットフォーム企業を目指して
Green Earth Institute(株) 代表取締役/CEO 伊原智人様
- ・微生物を用いた有用タンパク質生産の現況
(株)プロテイン・エクスプレス 取締役 研究開発部長 渡辺俊介様
- ・県内インキュベーション施設の紹介
- ・情報交換

(ウ) バイオ戦略2019と令和2年度経済産業省関連予算案のポイント

～世界最先端のバイオエコノミー社会の実現を目指す戦略を読み解く～

日 時：令和2年2月14日（金）14:00～16:00

場 所：ペリエホール Room A（千葉市）

参 加：45名

内 容：

- ・バイオエコノミー社会の実現を目指して
経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ
生物化学産業課 課長 田中哲也様
- ・情報交換

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクト創出に向け、情報交換の場を設ける。

(2) 具体的な取組

ア セミナーの開催（再掲）

内容は「1 会員への情報提供及び情報交換」のとおり。

「バイオ戦略 2019」（令和元年6月11日統合イノベーション戦略推進会議）の決定やオープンイノベーションの機運の高まり等を受け、バイオ産業の振興に関わる最新の政策や話題をテーマとしたセミナーを開催し、新たなプロジェクトの創出に向けた情報提供やネットワーク形成の場の提供等に取り組んだ。

また、他のネットワーク組織とセミナーを共催する等、連携の強化に取り組んだ（1の（2）のエのイ）。

イ バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議との連携

千葉県庁内に設置される「バイオ・ライフサイエンス分野に関する庁内連絡会議」への情報提供等を通じ、県施策におけるバイオ産業の活用方策の検討等に取り組んだ。

議題2 令和2年度活動方針（案）について

1 会員への情報提供及び情報交換

(1) 方針

- 会員相互の情報交換を促進するため、交流の場を設ける。
- 他のネットワーク組織やインキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化し、相補的・発展的な活動展開を図る。
- 県の産業振興策をはじめ、国の政策やAMED、NEDO等の事業に関する情報収集を行い、会員へ情報提供する。

(2) 具体的な取組

ア 総会

- 時 期：令和2年8月
- 方 法：書面開催（新型コロナウイルス感染症の拡大防止を防ぐため）
- 内 容：令和元年度事業報告（案）、令和2年度事業方針（案）

イ 事例報告会

- 時 期：令和2年秋頃
- 方 法：オンライン形式（予定）
- テーマ：リポドミクスー最先端質量分析技術による脂質分析の医療への展開ー（仮）

ウ 企画運営会議

- 日 時：令和3年3月
- 方 法：オンライン形式（予定）

エ セミナー・勉強会等

バイオ戦略（統合イノベーション戦略推進会議）が目指す市場領域や本県の特徴等を踏まえ、タイムリーな話題の提供や産学連携・産産連携等による新事業・新産業の創出に資するセミナーや勉強会等を開催する。

※テーマ候補

- ・バイオ生産システム（スマートセル技術を含む）
- ・バイオ×AI 技術

オ 外部ネットワーク等との連携の強化

セミナー共催等、外部ネットワーク組織との連携を模索・強化する。

また、他のネットワーク組織や県内インキュベーション施設、公設試、千葉県等との連携を強化するため、支援機関等が一堂に会し、情報交換等を行う場を試行的に設ける。

2 共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

(1) 方針

- 新たなプロジェクト創出のため、県内大学・研究機関のシーズと企業ニーズの探索に努める。
- 共同研究プロジェクトの創出に向け、情報交換の場を設ける。

(2) 具体的な取組

- 会員の事業内容等を把握・整理し、必要に応じてマッチングの場を設ける。
- バイオ戦略が目指す市場領域において、本県の強みを活かせる分野を模索するとともに、有望な分野については、関係者による情報交換の場等を設ける。
- 企画運営会議等で提案のあった内容等について、必要に応じヒアリングを行った上で、関係者による情報交換の場や勉強会等の場を設ける。